

議 議 会

だより



子ども達の新たな旅立ち 内海保育所修了式

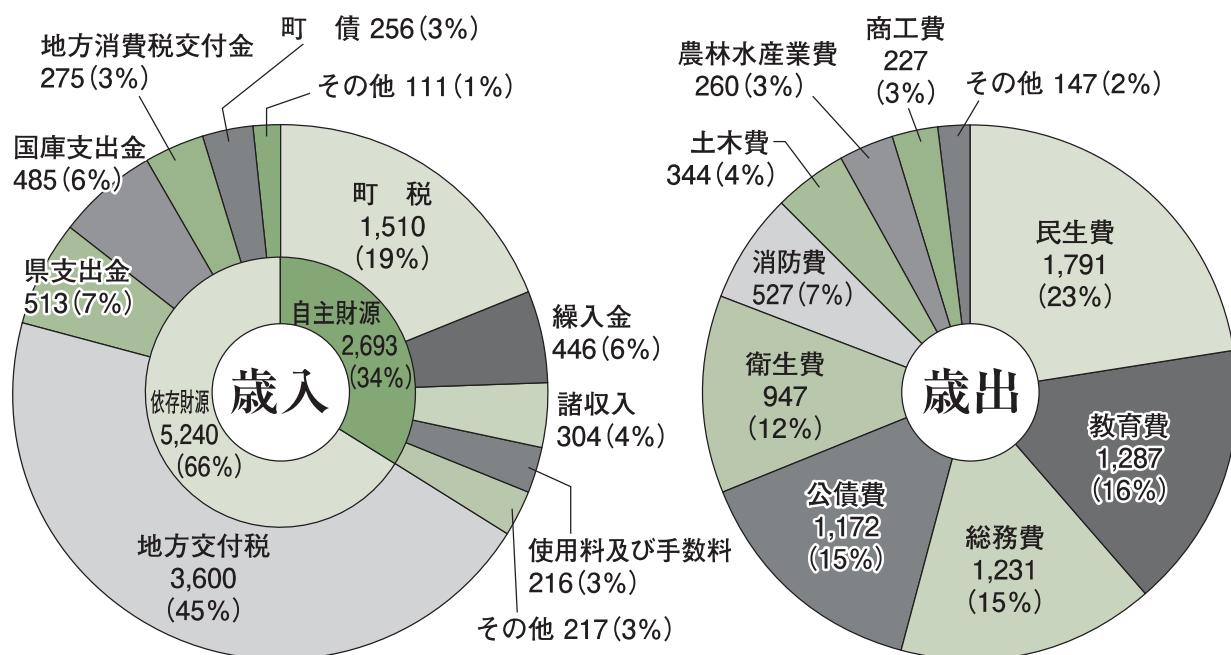
- 審議議案
3月定例会について 2~5
- 一般質問
4名の議員が質問 5~7
- 小学生議会 8・9
- 住民の声・まちの力 10

平成30年度 骨格予算 79億3千300万円 可決

3月定例会は、2月28日から3月16日まで17日間の会期で開催されました。予算案件7件、補正予算案件5件、条例案件16件、契約案件3件、人事案件3件、その他案件6件、議員発議2件と請願2件がありました。

予算案7会計、条例4件と請願2件については、総務建設常任委員会、教育民生常任委員会にそれぞれ付託し、集中審査を行い、予算と条例については可決され、請願については不採択となりました。

また、4人の議員から防災・福祉などについて一般質問がなされました。



(単位は百万円、構成比は%、百万円未満は四捨五入)

*端数処理の関係上、数値が合わない場合がある

<p>健康づくり</p> <p>小豆島中央病院企業団 負担金 2億1,542万円</p> <p>町の抱える課題を5つのテーマに分けて予算を編成しました。</p> <p>町の抱える課題を5つのテーマに分けて予算を編成しました。</p> <p>主な事業</p> <p>新年度早々に首長選挙を実施する場合、政策的な経費を除き、義務的な経費や継続して実施することが確実な事業費のみを予算計上することです。</p> <p>政策的な事業については6月の定例会において肉付けを行います。</p>
<p>保健・医療・福祉関係職修学資金貸付事業</p> <p>医療従事者確保対策事業</p> <p>医療従事者のスキルアップについて助成を行います。</p> <p>2,511万円</p>
<p>認定子ども園整備事業</p> <p>中学校の通級指導員を1名から2名へ増員します。</p> <p>429万円</p>
<p>子育ち・人づくり</p> <p>子ども医療費給付事業</p> <p>通院、入院費を、乳幼児（中学校終了まで支給します。</p> <p>3,147万円</p>
<p>※骨格予算とは 新年度早々に首長選挙を実施する場合、政策的な経費を除き、義務的な経費や継続して実施することが確実な事業費のみを予算計上することです。</p> <p>政策的な事業については6月の定例会において肉付けを行います。</p>

認定子ども園整備事業
中学校の通級指導員を1名から2名へ増員します。
2,282万円

子育ち・人づくり

子ども医療費給付事業
通院、入院費を、乳幼児（中学校終了まで支給します。
3,147万円

保健・医療・福祉関係職修学資金貸付事業
医療従事者確保対策事業
医療従事者のスキルアップについて助成を行います。
2,511万円

認定子ども園整備事業
中学校の通級指導員を1名から2名へ増員します。
2,282万円

保健・医療・福祉関係職修学資金貸付事業
医療従事者確保対策事業
医療従事者のスキルアップについて助成を行います。
2,511万円

認定子ども園整備事業
中学校の通級指導員を1名から2名へ増員します。
2,282万円

外国語活動支援員 配置事業

160万円

小学校の英語教育について、年間140時間実施しているが、200時間へ拡大するため、支援員を配置します。

オリーブトップワン プロジェクト

629万円

オリーブ植栽110周年記念事業等を実施します。

住まいづくり

定住促進住宅駐車場整備事業

458万円

定住促進住宅の駐車場を新たに15区画整備します。

文化・アート

草壁郷土史発行

助成事業

30万円

内海地区防犯灯設置推進事業

250万円

内海地区の街灯を商工会と連携してLED化します。

産業づくり

有害鳥獣対策事業

6,462万円

イノシシやシカ等の被害防止のための柵の設置に対する助成や捕獲に対する奨励金です。平成30年度からはヌートリアも捕獲助成の対象となります。

三都半島

アートプロジェクト

331万円

草壁地区の郷土史の発行に対する助成金です。

一般廃棄物

東瀬戸内文化圏の石の魅力創造プロジェクト

160万円

石切り丁場の調査研究、石切り技術の文化伝承事業などを実施します。

避難場所標識設置事業
内海地区の街灯を商工会と連携してLED化します。

避難場所の案内標識を新たに5カ所設置します。

漁業振興対策事業

367万円

漁業振興に対する助成金です。内海漁協橋支所の製氷機更新等を行います。

若手の経営者育成のための講座を開きます。

270万円

付託された条例案件4件と予算案件7件について、4日間にわたり審議を行い、次の意見をつけ賛成多数で原案通り可決しました。

平成30年度予算は意見を付けて可決

【委員会意見】

人権対策課 ⇒ 改良住宅使用料の未収金対策に努められたい。

学校教育課 ⇒ 特別支援学校の用地取得については、県にも応分の負担を求められたい。

社会教育課 ⇒ 三都半島アートプロジェクトは、成果の検証と今後の方向性を検討されたい。

子育ち共育課 ⇒ 就学前教育の方向性を検討されたい。

介護保険施設 ⇒ 収支改善を図るため、老健から特養への転換や運営主体の検討など、早急に取り組まれたい。

審議した主な議題

補正予算

会期中に一般会計補正予算2件が提出され、補正後の予算は101億9,220円となりました。

一般会計（第6号）

1,269万円の増額となりました。主な内容は人件費に対する補正です。

（環境衛生費）

塵芥処理用車両修繕費 378万円



手延べそうめん館

手延べそうめん館
製造器具購入費

そめんのこね機を
購入する費用です。

額を下回ったため減額するものです。

地籍調査費

2,345万円

平成30年度事業分について前倒しで国からの補助金が配分されたためです。

（商工費）

二十四の瞳映画村 施設改修等補助金 430万円

アート壁画などの整備を行う費用です。

居宅介護支援事業の指定及び指導監督権限が、県から町に移譲されるため、その基準を定めるものです。

介護保険条例

第7期介護保険計画に見込まれる介護サービス量から推計し、必要とされる保険料額に改めるものです。

小豆島工場立地法第4条の2第1項の規定に基づく準則を定める条例

工場の立地に関しては国が定めた基準以上の工場については、一定以上の緑地が必要となるが、その基準値を緩和するための条例です。

小豆島工場立地法第4条の2第1項の規定に基づく準則を定める条例

町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

町内の各種団体の代表で構成された特別職報酬等審議会からの答申に基づき、町長等特別職の給与は据置ますが、議員報酬（月額）については、次のように改正されました。

議長 34万5千円
副議長 28万円
議員 27万円

固定資産評価委員の同意について現在の委員である田氏、藪脇氏、三木氏が平成30年5月10日をもって任期満了となるが、引き続き3氏を委員とすることに同意をしました。任期は3年間です。

人事案件

利な辺地債を活用しようとをするものです。

条例の一部改正

国民健康保険税条例

国民健康保険税が広

いた大規模修繕事業が、平成30年度に延期となつたための減額です。

健全な運営を図るため、税額の改正を行いました。2年間は被保険者の負担を軽減するため増加額の4分の1の軽減を行います。

条例の一部改正

国民健康保険税条例

国民健康保険税が広

いた大規模修繕事業が、平成30年度に延期となつたための減額です。

健全な運営を図るため、税額の改正を行いました。2年間は被保険者の負担を軽減するため増加額の4分の1の軽減を行います。

小豆島町辺地総合整備計画の策定

池田地区の農業用畠地灌漑施設（パイプライン）を平成30年度から5年間かけて整備をしていく予定ですが、その財源について、有

ハッチを設置します。

老健うちのみ跡地利用改修工事関係費 工事の請負差金による減額です。

ごみ収集車火災に対して、修繕と新規購入により2台体制とするものです。2台について火災が起きた時には火災が起きた時に応できるよう、消化

条例

老健うちのみ跡地利用改修工事関係費 工事の請負差金による減額です。

ごみ収集車火災に対して、修繕と新規購入により2台体制とするものです。2台について火災が起きた時には火災が起きた時に応できるよう、消化

条例の一部改正

国民健康保険税条例

国民健康保険税が広

いた大規模修繕事業が、平成30年度に延期となつたための減額です。

健全な運営を図るため、税額の改正を行いました。2年間は被保険者の負担を軽減するため増加額の4分の1の軽減を行います。

小豆島町辺地総合整備計画の策定

池田地区の農業用畠地灌漑施設（パイプライン）を平成30年度から5年間かけて整備をしていく予定ですが、その財源について、有

三木 忠臣 氏

藪脇 修 氏

塩田 洋司 氏

固定資産評価委員の同意について現在の委員である田氏、藪脇氏、三木氏が平成30年5月10日をもって任期満了となるが、引き続き3氏を委員とすることに同意をしました。任期は3年間です。

議会だより 平成30年5月1日

請願

「憲法9条改正に反対する意見書」の提出を求める請願

小豆島九条の会 紹介議員 鍋谷真由美

「核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書」の提出を求める請願

紹介議員 鍋谷真由美
いずれの請願も審査
した結果、委員会及び
本会議とともに「不採択」
となりました。

工事請負契約
老健うちのみ跡地利用改修に係る工事の変更契約
庁舎改修に係る工事
変更前
3億6,920万円
変更後
4億633万円



全国町村議会議長会表彰

長年、議員として地域発展に尽力した功績が讃えられ、森口議長と藤本議員が全国町村議会議長会から表彰を受けました。

新 庁 舍

発
議

小豆島町議会委員会条例
水道事業が県下統一
企業となることに伴い
委員会の所管から水道
課を除きました。

小豆島町議会会議規則

小豆島町議会会議規則
議案の審査又は議会
の運営に関し協議又は
調整を行うための場と
して、全員協議会を明
記しました。

議長会表彰

詩北全集

答弁 防災のための準備は細心の注意を払ってすることが必要だと考えていい。

③災害が起きたとき、どう行動をするのか、そのための準備はどうするのか共通の認識を持つうえで、大事な会議だが平成二十八年一月から開催出来ていよいよ。新しい体制のもとで、でき

避難者数はこ
人、備蓄場所
区は保健セ
階、内海地区
病院の備蓄倉
庫に保管。

え、良好な環境確保に
向け取り組みたい。
②県から示されている
各町の備蓄目標量は達
成している。香川県の
試算では小豆島町の総

るだけ早く防災会議を開くことが必要だと思っている。女性委員の登用についても再度考えていいきたい。

防災・減災対策について

細心の注意が必要」

A black and white photograph of a large conference room. Numerous people in white coats are seated at long, narrow tables arranged in rows. The room has a modern design with a curved ceiling and recessed lighting. A large projection screen is visible in the background, displaying a landscape scene.

防災会議の様子（平成26年）

一般質問



中松 和彦 議員

人口減少には、まず高齢者の活力を
町「シルバー人材センターとの
連絡を密にしていく」

質問 現在、非常に問題になっている人口の減少。この問題について、小豆島町はJターンあるいは移住者等の定住促進を図るため、種々の施策を行っている。

しかし、これ程人口が減少すると、今や町人口の4割に達する高齢の方々は貴重な人材の宝庫ではないか。また、全国的にも70歳までの人約8割は働くことを希望していると聞く。

小豆島町における高齢者の就業実態、及びシルバー人材センターの利用実態は。

答弁 15歳以上の約5割6千7百人の方が就労し、うち約1千2百人、約18%が高齢者だ。75歳を超えると就業率は約4%と激減する。

シルバー人材センターの会員は145名程度で推移している。また、平成28年度では実際に町から補助金を出している。

今後、高齢者の方々のパワーを活用すべく、シルバー人材センターとの連絡を密にしていく。また、技能を持つ方が、その技能を生かした作業に就けるよう、本人と作業内容のマッチング等を考慮しながら支援していく。



高齢者の活力を（シルバー人材センター）



森 崇 議員

高潮対策の進捗状況は
町「今年度は開口部
約17m改善する予定」

質問 高潮被害から14年になる。東部地区労の仲間と1年4か月かけ、18カ所に分け1007枚の写真を写した。

国にも行つたが「海側ばかりにお金をかける。高台の人が文句うでしょう。」と言われた。「高台の人が丸金醤油や佃煮会社に勤めています。」といふと分かってくれた。災害対策基本法は58回も改正されている。

答弁 一貫して高潮対策に取り組んでこられたことに敬意を表する。映画村付近の三角海岸（農林海岸）の護岸は古くて傷んでいる。平成30年度は、開口部約17mを改善する予定である。



二十四の瞳映画村近くの護岸開口部

質問 日本は世界一赤い原因の調査をしていないと思う。二十四の瞳映画村近くがまだだ。進捗状況を聞きたい。

町は「その地域特有の原因の調査」をしていないと思う。二十四の瞳映画村近くがまだだ。進捗状況を聞きたい。

少子化の原因について
町「賃金が低いだけでなく非正規雇用が多いのも要因だ」

質問 日本は世界一赤い人の賃金が低いだけではなく非正規雇用が多いのも子どもを産むことが出来ない要因だ。

一般質問

生活保護基準引き下げの影響は

町「現時点での影響額の

試算は困難



鍋谷真由美議員

る。

住民税、保育料、介護保険料、就学援助などで低所得世帯の生活悪化に連動し、町民のくらしへの大きな影響をあたえることになる。町民への影響はどうか。

質問 政府が最大5%という生活扶助基準引き下げの方針を決めた。

一般低所得世帯の消費実態との均衡を図るためにとしているが、生活保護基準以下で暮らす人が多く、本来制度を利用すべき人が利用できず厳しい生活をしているということだ。そこに合わせると、際限なく下がることになる。

生活保護は憲法25条に明記された国民の生存権を保障する最後のサービスイネットである。

本町では生活保護費が減少する世帯は少ないものと見込まれる。

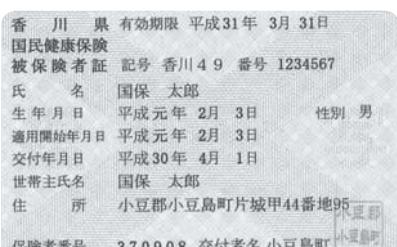
答弁 生活保護基準の見直しによる住民税の非課税基準改定は、平成31年度以降の税制改正で対応を検討されるので、影響額の現時点での試算は困難。

それぞれの制度の趣旨、目的、実態等を考慮し、できる限りその影響が及ばないよう対応することが基本的考

質問 「保険者努力支援制度」は国保税の徵収率アップに応じて政府が市町村への交付金を上乗せするもので差し押さえを助長することになるのではないか。住民の生存権を脅かす差し押さえを広げることのないよう求め

る。

国保に対する国庫負担率の引き上げこそ必要であり、国に要望すべきと考へるがどうか。また、保険料の均等割における子どもへの軽減策を検討し、子どもの均等割減免の創設をしてはどうか。



新しい国民健康保険被保険者証

国保税の子どもの均等割減免を

町「国で検討されるので

動向を注視する

町「国の負担強化は

言い続けることが必要

国に介護保険料の負担軽減を

要望すべきでは

もない。

国の財政負担を強化することは、市町村、

県の立場からいえば当然、常に国に対して意

見を言っていく必要があ

る。

子どもの均等割減免

は全国一律にすべき

で、国の動向を注視し

ていきたい。制度の導

入について、地方から

国に対して要望はして

いくべきだ。

子どもの均等割減免

は全国一律にすべき

で、国の動向を注視し

ていきたい。制度の導

入について、地方から

国に対して要望はして

いくべきだ。

子どもの均等割減免

は全国一律にすべき

で、国の動向を注視し

家計を圧迫している。

今後団塊の世代が75

才以上になり給付額が

増大し、そのうえ負担

割合が上がることを考

えると、どこまで保険

料が上がるのかと背筋

が寒くなる。

国は、軽度者は介護

保険から外し、重度者

にサービスをシフトし

て給付を抑制すると

もに、利用者負担を増

やすことで制度の維持

を目論んでいる。それ

で制度は維持できたと

しても、高齢者の生活

は維持できない。

公費を50%以上に増やすこと、特に国が負

担割合を引き上げるよう国に要望すべきと考えるがどうか。

答弁 介護保険の対象範囲を重度者に限定する方向 자체、介護保険という制度を国全体としてキープするためにやむを得ないと思う。

常に国の負担の強化

担当が増えないようにす

ることは必要である。





13人の安田・苗羽小学校議員の皆さん

小豆島町健康づくりキャラクター
オーリーばんだい えいすけ (安小)
萬代 瑛介 議員

(質問) 高校跡地を「小豆島スポーツグラウンド」に整備すれば、健康で元気な人が増えると思うがどうか。

(答弁) グラウンド、野球場や体育館については、社会体育施設としての利用を推進したいと考えている。

おおそら み ゆ か (安小)
大空美優香 議員

(質問) 寒霞渓の紅葉を守るためにどのような取り組みを行っているか。寒霞渓の動画を流してはどうか。

(答弁) 神懸山保勝会等と協力して保全活動を行っている。小豆島観光協会のHPで、ドローンを使った空撮の動画を配信している。

おかだ ほろみち (安小)
岡田 幌理 議員

(質問) バスケットリング等の遊具を設置してもらいたい。今後、学校に新しい遊具を設置する予定はあるか。

(答弁) すぐに新しい遊具の設置は難しいが今後の参考にするので、ご意見があつたら学校の先生等に伝えてほしい。

いしい ゆうと (安小)
石井 優斗 議員

(質問) 選挙権が18歳に引き下げられた。私たちが町づくりに参加する意識を高めるために、どのような啓発活動に取り組んでいくのか。

(答弁) 子ども議会は政治や町づくりに関心を持つてもらうよい体験であり、今後も継続していきたい。

きゅうぼし み ゆ (苗小)
九星 心優 議員

(質問) 観光業を盛んにすれば就職先が増え、小豆島で働くとする若者が増えるのではないか。

(答弁) 観光業も食品産業も重要な。新製品の開発や販路拡大のために研修会や相談会を実施している。また、新たに起業をしようとする人のために補助金制度を設けている。

どい じんた (苗小)
土居 仁太 議員

(質問) 笑顔で楽しく暮らせる小豆島にするために、天候に関係なく遊べるテーマパークを作つてみてはどうか。

(答弁) テーマパークを作るのは難しい。小豆島には海や山などの自然があり、雨の日は体育館や図書館で過ごしてみればどうか。

おかだ ま や (苗小)
岡田 真弥 議員

(質問) オーリー君の認知度が低いのではないかと思う。地域の行事や学校行事で登場する機会を増やしてみればどうか。

(答弁) 学校の運動会や音楽祭、地域の夏まつり等に参加して知名度を上げていきたい。見かけた時は声をかけるなど仲よくしてください。

きのした はくと (苗小)
木下 伯斗 議員

(質問) ゆるキャラとして「ギョギョギョ牛」を考えた。町のキャラクターにするためにはどうすればよいか。

(答弁) 商標登録すれば、オリジナルのキャラクターとすることが出来る。もっとアイデアを練れば、面白いキャラクターとなりそうである。

あき た しん じ (安小)
秋田 真志 議員

(質問) 「小豆島伝統芸能フェスティバル」を行うと、より人と人がふれあう町になると思うがどうか。

(答弁) 小豆島の文化伝承の取り組みとしては、大変有効な手段かと思うので、近い将来の実施に向けて検討したい。

いたみ う らん (安小)
伊丹 羽蘭 議員

(質問) 町として、オリーブを生かした町づくりをどのように考えているのか。



(答弁) 全国のトップワンであり続けるために、関係機関とともに他産地との差別化等、さまざまなイメージ戦略に取り組んでいく。

はせがわ あやみ (安小)
長谷川絢巳 議員

(質問) 島が元気になるには、交通の便利さが重要だと思う。今後の交通の利便性はどのように考えているのか。

(答弁) 他の島に比べると便数も多く恵まれている。島の魅力を高めながら海上交通を守っていかなければならない。

やまぐち あかり (苗小)
山口 明莉 議員

(質問) イノシシが畠を荒らす等、困っていると聞いた。どのようなイノシシ対策を行っているのか。

(答弁) 出て来なくなるような効果的な方法は見つかっていない。生ごみの処理、柵の設置、捕獲を継続して実施していくことが大切である。

ふじた み ゆう (苗小)
藤田 実優 議員

(質問) 住んでいる地区は街灯が少なく、交通事故や不審者などが心配である。街灯を増やす予定はあるか。

(答弁) 各自治会が地区内の街灯の設置・管理を行っている。設置には費用が掛かるので、自治会と話し合いをしたい。



町内4小学校による 小学生議会

2月6日に安田・苗羽小学校の児童13人、2月9日に池田・星城小学校の児童11人による、小学生議会が開かれました。町に対して、子どもの視点からみた、町づくりに対する質問が行われました。



11人の池田・星城小学校議員の皆さん

川西アモル (池小) 議員
(質問) お年寄りや体の不自由な方が病院へ行きやすくなる取り組みは。

(答弁) バスの路線変更と運賃の上限を300円に改正した。また、体の不自由な方には昨年4月よりタクシー券の助成を行っている。

松尾 真幸 (池小) 議員
(質問) 中山農村歌舞伎を残していくための取り組みや広報活動はどの様にされているのか。

(答弁) 「中山農村歌舞伎保存会」が中心となり守り続けている。町は補助金を出している。SNS等を利用し、世界に魅力をPRしている。

竹田 識人 (池小) 議員
(質問) 池田に特別支援学校が出来ると聞いたが、池田小学校とどのような交流や関わり方を考えているのか。

(答弁) 県下初の通常学校との併設であり、決まった交流の仕方はない。どんな交流が出来るか、ぜひ提案してもらいたい。

小倉 晴 (池小) 議員
(質問) 平木周辺の国道は道が狭く歩道が整備されていない。歩道が整備されていく計画はあるのか。

(答弁) 時間も費用も沢山かかり大勢の人の協力があってできる大工事である。県に対して出来るだけ早く進むよう協力をお願いをしている。

岡 和 (池小) 議員
(質問) シカやイノシシの被害を防ぐための取り組みについてと、シカやイノシシがどのぐらいいるのか。

(答弁) 生ゴミを処理する、柵をする、捕獲する等の対策をしている。シカは約2,800頭、イノシシは約4,000頭と推測される。

伊賀瑛之助 (池小) 議員
(質問) 高齢者施設と従業員を増やしてほしい。高齢者がすみよい町になるためどんな取り組みをしているのか。

(答弁) 施設整備はほぼ整ったが、全国的に介護に関わる職員が不足している。従業員確保のため、奨学金制度や研修会の開催を行っている。

正月 由菜 (星小) 議員
(質問) 高齢者と子どもがふれあう機会が増えればと思うが、そのようなイベントを実施する予定はあるか。

(答弁) 現在はゲートボール等のクラブ活動や安田おどりの指導等を実施している。今後、昔遊びのイベント等を実施できればと思う。

室田 夢來 (星小) 議員
(質問) 空き家をお店にリフォームしたり移住者が暮らせるようにしたらいいと思うがどうか。

(答弁) 「空き家バンク制度」を実施しており、240件の空き家が登録され、沢山の人たちに利用して頂いた。今後も有効に活用していきたい。

赤根 里音 (星小) 議員
(質問) 島の名産のオリーブを生かして、オリーブ通り商店街をつくったらと思うがどうか。

(答弁) 草壁の商店街には約15件の空き店舗があるので、所有者の意向を伺い活用できればと思う。



山田悠太郎 (星小) 議員
(質問) 島の人口を増やすために島のPR動画や、島のよさが伝わる仕事をつくってみてはどうか。

(答弁) 祭りや農村歌舞伎等の動画を収録しているので、今後公開していきたい。新しい仕事を始める会社には助成を行っている。

平間 隆仁 (星小) 議員
(質問) 昔懐かしい給食がひそかなブームになっていると聞いた。廃校等で提供してみてはいかがか。

(答弁) 映画村内で昭和時代の給食セットを提供しており、非常に人気との話である。廃校等の利用については検討したい。



「超高齢化時代に向かって」

山本一郎

(蒲野自治会 会長)

蒲野自治会は、三都半島の南東に位置し、世帯数68戸、人口135名、6つの組で構成された小さな自治会です。

今から20年ほど前に自治会が法人化になり、昨年、自治会保有財産を蒲野自治会名義で登記することが出来ました。

また、毎年行う役員会には会長、副会長2名、会計、各組長6名、相談役、議員の12名で行います。そこでの決定事項は議事録に保存しています。

役員会での決定事項を各組に持ち帰り各戸に周知しています。

一組が7世帯～16世帯と格差はありますが、

昔からの組割で行っております。

自治会活動としては、総会、河川清掃、権現祭り、敬老会、秋祭り、自主防災訓練等があります。

また、県行事で「香川さわやかロード」と言って県道の清掃作業を行うボランティア活動を年2回行っています。

また、墓地、権現さん、薬師堂の清掃を毎年各組の当番制で行っています。

今後の問題点としては、小さい自治会であるため、報告、連絡、相談事がスムーズに行えていませんが、少子高齢化が進み、自治会活動に参加できる人が益々減少することです。後十年後には自治会活動が成り立たなくなると考えられます。人口減少の対策を早急に行っていただけよう、行政にお願いします。



地区の様子

議会を傍聴しませんか。

次回定例会の予定は

6月中旬

です。なお、小豆島町議会に政務活動費制度はありません。

まちの
力

絵手紙とは、松本市出身の小池邦夫氏が日本絵手紙協会を設立し、絵と文を葉書に描き相手に届ける手紙というものです。「へたでいいへたがいい」と言われるように気楽に描ける小さなアートで、当時の内海町長川西寿一氏が発起人としてスタートさせました。川西氏の夢であった「小豆島を絵手紙の島に」の理念に基づき、池田・土庄地区でも教室を開設して、最盛期には島内に200名を超える会員で構成されています。

グループ名の「夢島寿の島に」と教室開催場所の「むとす館」は会員の発案で、逝去された川西寿一氏の夢であつた「小豆島を絵手紙の島に」と教室開催場所の「むとす館」をもじって命名されました。現在の会員は20名で、毎月1回第2日曜日に

午後1時30分から安田のむとす館において開催しておりますので、お気軽に立ち寄りください。9月に才リープナビにおいて15日間

の会員作品の展示、11月には町文化協会の作品展示会に参加しています。また、体験教室として要望のあつた団体への協力もし、絵手紙の普及に努めています。

絵手紙の簡単なルールは、穂先に集中して絵と文を葉書に描く下書きなしの一発勝負です。大きく描き葉書からはみ出し、色の塗り残しが作品をより生き生きとさせます。教室も会員同士和気合い合いの雰囲気で、はみ出しながら楽しんでいます。

むとす
絵手紙
夢島寿の会

会長 濱崎 哲良

編集後記

気が付くと、そこかしこに春が訪れはじめている。議員としての4年の任期。あつとう間の月日であったが、町の様子も随分変わった。

身の周りを見ると、道の巾が少し広がったり、荒れた土地が整備されたり。見た目には心地よいが、野草が自生する場所は年々狭まってしまった。

日に日に暖かくなってきたが、今年は瑞々しい野草をどれ程見

ことができるだろう。

利便性と快適性を求めるることは当然だが、陰となっている部分も大切にしたい。

中松和彦 記



本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL(0879)75-1100 FAX(0879)75-0108

E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp

議会だより 平成30年5月1日 10